

十一月二十四日

午前中諸々の連絡、通信。星の子愛児園。十四時二〇分新宿。十五時前研究室。打合わせ十九時迄。新大久保駅前近江屋でビール飲んで、世田谷村に戻る。モスクワの若松氏より連絡あり。世田谷村に戻ると、何とウサギのツトム（最近はおツチャンと呼ばれていた）が死んでしまっていた。ネコのニコライに殺された。昨日くらいからニコライが凶暴におツチャンに飛びかかり、かみつぎ、押さえつけていた。おツチャンはそれがショックで弱り果て、死んでしまった。外傷は小さく、ショック死である。ウサギはデリケートなのだ。猫を殺そうかと思っただけ、その感情は抑えた。動物は動物なのだから仕方がないのだ。家中悲しみに沈む。私も、初めて可愛がった動物だったので、寂しさを強く感じた。やっぱりウサギは家の中だとは言え、小屋の中に保護してしかなるべきであった。私達が悪かった。猫のニコライに責任は無い。当たり前前である。

十一月二十五日

早朝、ウサギのツトムの埋葬場所を樺の木の下に決める。彼もたった一年ここで過ごしただけであつたが、可愛がられて幸せであつたと思いたい。何かに生まれ変わるのだからうか。

九時三〇分GA。十時二川幸夫、塚本君と対談。二川幸夫の独壇場であつた。こんな時期だ、それで良い。十四時前、昼食をいただき、GAを去る。気分がすぐれず、世田谷村に戻る。今はこ

れで仕方ないだろう。只今桜上水、午後の陽光が心なしに弱く感じられる。

十一月二十六日

朝、庭の樺の樹の根元に埋めたツトムの墓におまいりする。十時研究室。住宅打合わせ。十一時過、南雲建設社長来室。森の学校打合わせ。その後ひろしまハウスの打合わせ。十五時設計製図。長野の川上先生の看板建築のスライド見る。十八時、ひろしまハウス作業。住宅作業。二〇時半修了。二十一時四〇分世田谷村に戻る。今日はひろしまハウスの作業が進んだのが収穫だった。

十一月二十七日

昨夜は何故か深夜までミッキー・スピレーンのマイク・ハマーを読んだ。いわゆるハード・ボイルドの古典だ。自分でも何故なのか解らない。うさぎ「おツチャン」が居なくなつて、少しばかり、ふさぎ込んでいる自分が嫌になつたのである。今日は午後、研究室でMMAの企画書をまとめる。